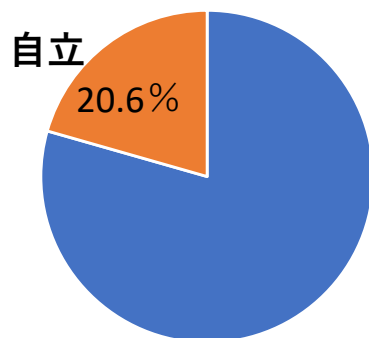


2021年度 理学療法部門 臨床指標

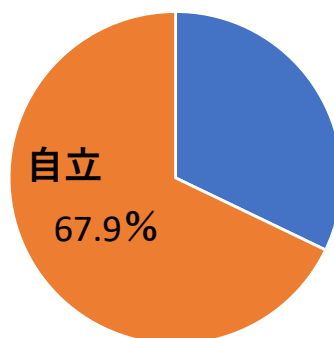
脳血管疾患 患者： 277 名

歩行が自立している患者（入院時）



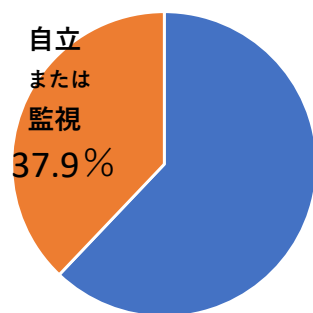
入院時歩行6以上： 20.6%（ 57/ 277名）

歩行が自立している患者（退院時）



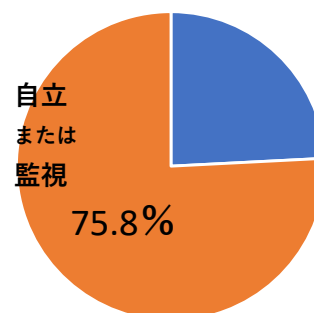
退院時歩行6以上： 67.9%（188 / 277名）

歩行が自立または監視で可能（入院時）



入院時歩行 5 以上： 37.9%（ 105/ 277名）

歩行が自立または監視で可能（退院時）



退院時歩行5以上： 75.8%（ 210/ 277名）

「できる基本動作」としての歩行（当院での評価）

1（全介助）	介助下であっても15m歩行できない
2（最大介助）	15m歩行する際に、介助者が支持している
3（中等度介助）	50m歩行する際に、介助者が支持している
4（最小介助）	50m歩行する際に、ふらつきがあればすぐ支持できるよう、指先で患者に触れている
5（監視）	15m自立、50mは監視が必要
6（修正自立）	杖や補装具を使用し、50m自立
7（完全自立）	50m独歩自立

※病棟の環境で評価するものとし、平行棒歩行は全介助とする。

環境が異なる条件下（病棟、リハビリ室など）で実施して介助量が異なる場合は、低い方を採用する。